

東小稲町内会

— 十和田囃子競演会3連覇に挑む —



MEMO

今回で8回目となる「十和田囃子競演会」。東小稲町内会は第1回大会をはじめ、通算4度の優勝を誇ります。

現在、同町内会は、一昨年（第6回）、昨年（第7回）と連覇、今大会には3連覇がかかっています。

過去に同大会で3連覇を達成したのは公園街地区町内会のみです。



▲真剣な表情で練習する小太鼓奏者の皆さん。「笑顔大切に」指導者から声が掛けられます



▲指導者の皆さんが一人一人丁寧に指導

▲初めて小太鼓を叩く山内穂乃香さん（写真中央、三小・5年）ら3人は、「楽しいし、おもしろけど、難しい…」と、苦笑い

◆「第8回十和田囃子競演会」は、秋まつり中日（6日）、午後1時50分から市相撲場で開催されます。

「赤6票、白5票」。昨年の秋まつりに行われた「第7回十和田囃子競演会」の決勝戦、東小稲町内会対公園街地区町内会のライバル対決は、1票差の僅差で東小稲町内会が2年連続の優勝を果たしました。

あれから1年——。

「よろしくお願ひします」東小稲町内会（太田善哉よしか会長）のお囃子の練習は、参加者全員が整然と整列し、あいさつから始まります。

練習が始まると「バチは目の高さに」、「叩くのが速いよ」などの声が掛けられます。小太鼓を叩く児童らにアドバイスをするのはお囃子指導者の砥綿太陽さん。「子どもたちが中心の秋まつり。いい練習ができるように環境を整えるのが私達の役目です。参加してくれる子どもたちは宝ですよ」と、話します。

約2時間の練習。最初は小さかった掛け声も、最後は「東だ、東だ、ワッショイ、ワッショイ」と、太鼓の音に負けない大きな声が会場に響き渡っていました。

「ありがとうございました」終わりのあいさつも元気がいっぱい。練習を終えた皆さんは一樣に充実した表情を見せました。

「練習で積み重ねてきたことを本番で発揮し、東小稲らしさを出すことができればおのずと結果はついてくると思います」と、話す砥綿さん。昨年の優勝メンバーの一人、小太鼓を担当する中沢太樹くん（高清水小・5年）は「叩くりズムに気を付けないながら、笑顔で演奏して、最後まであきらめない気持ちを持って頑張ります」と、大会に向けての意気込みを話しました。